

# 大雪災害時にも対応可能な公共交通をめぐりして

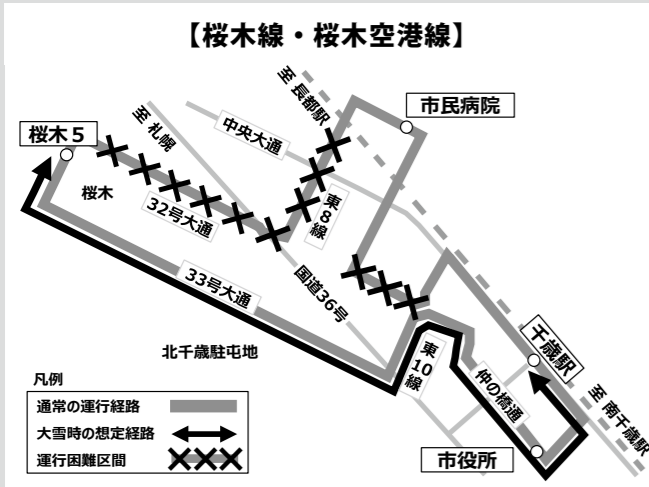
令和4年1月から2月にかけて発生した大雪により、市内の路線バスは、遅延や迂回運行のほか、全路線が終日運休となり、最大で10日間運休が続いた路線が発生するなど、市民生活に大きな影響がありました。この経験を踏まえ、大雪災害時においても市民生活への影響を最小限にとどめるため、路線バス運休時の新たな市民周知方法（情報発信の即時性の強化）や道路状況に応じた緊急避難的な運行ルートの設定など、対応方針をまとめました。



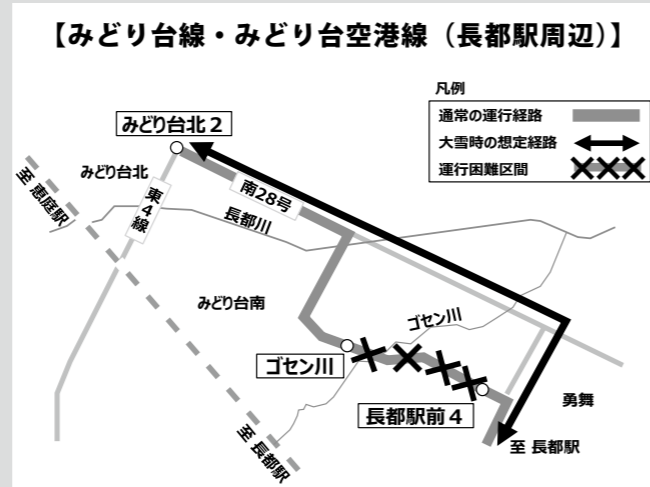
【詳細】交通政策課 交通政策係 (24)0897 ☎(22)8854

## 2 緊急避難的な運行ルートの設定

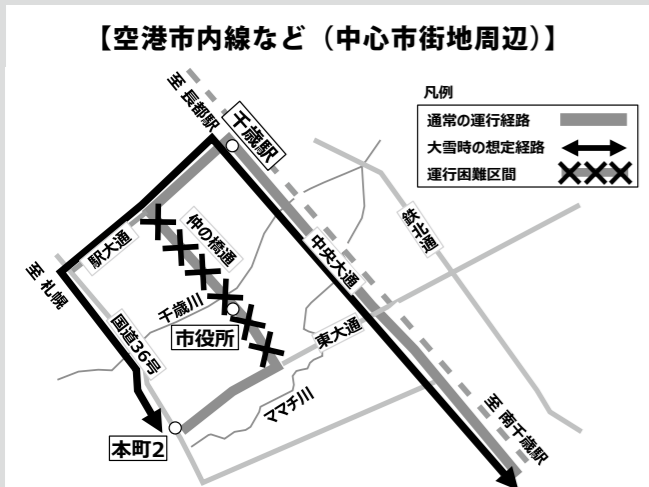
大雪災害時においても、市民生活への影響を最小限にとどめるため、あらかじめ路線ごとに道路状況に応じた緊急避難的な運行ルートを設定しました。



東8線や32号大通の運行が難しい場合は、桜木5丁目と千歳駅の往復運行に切り替えます。【狹隘道路の回避】



ゴゼン川～長都駅前4間の運行が難しい場合は、南28号への迂回ルートに切り替えます。【狹隘道路の回避】



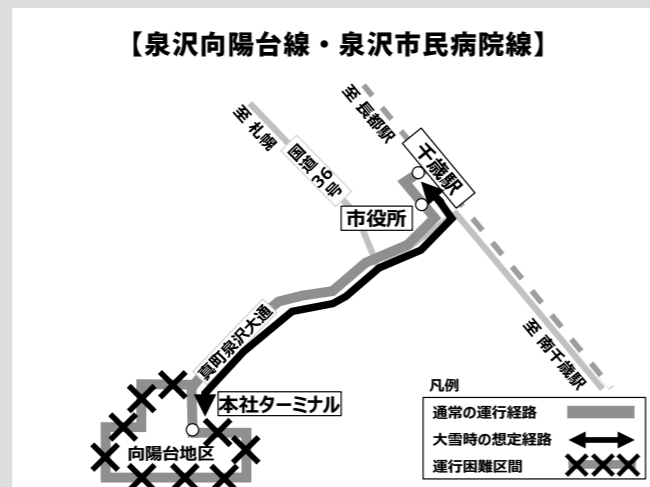
仲の橋通の運行が難しい場合は、国道36号と駅大通を経由するルートに切り替えます。【狹隘道路の回避】



祝梅小学校周辺の市道の運行が難しい場合は、東大通を直進するルートに切り替えます。【狹隘道路の回避】



東8線や稲穂1～清流3間でバス同士のすれ違いが難しい場合は、両回り運行から片回り運行（市民病院先回り）に切り替えます。【片回り運行への切り替え】

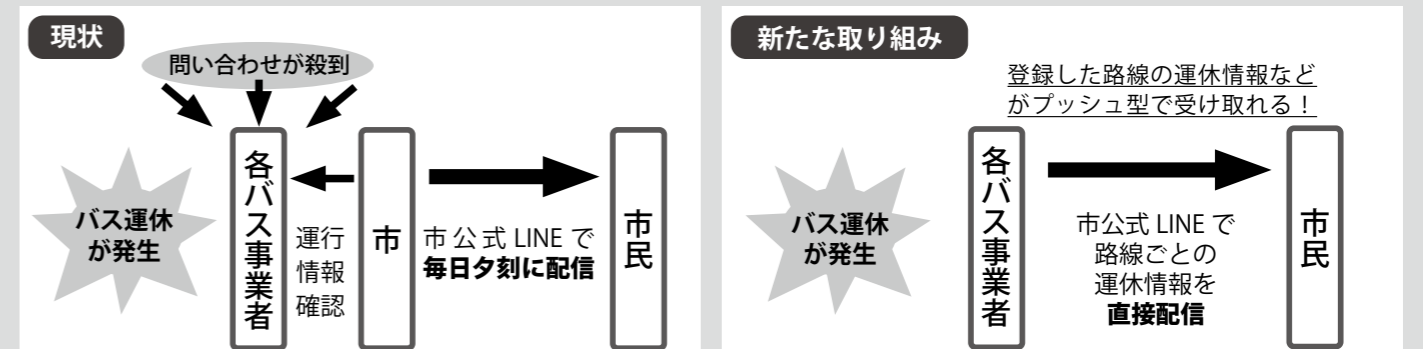


向陽台地区の生活道路の運行が難しい場合は、本社ターミナルと千歳駅または市民病院の往復運行に切り替えます。【狹隘道路の回避】

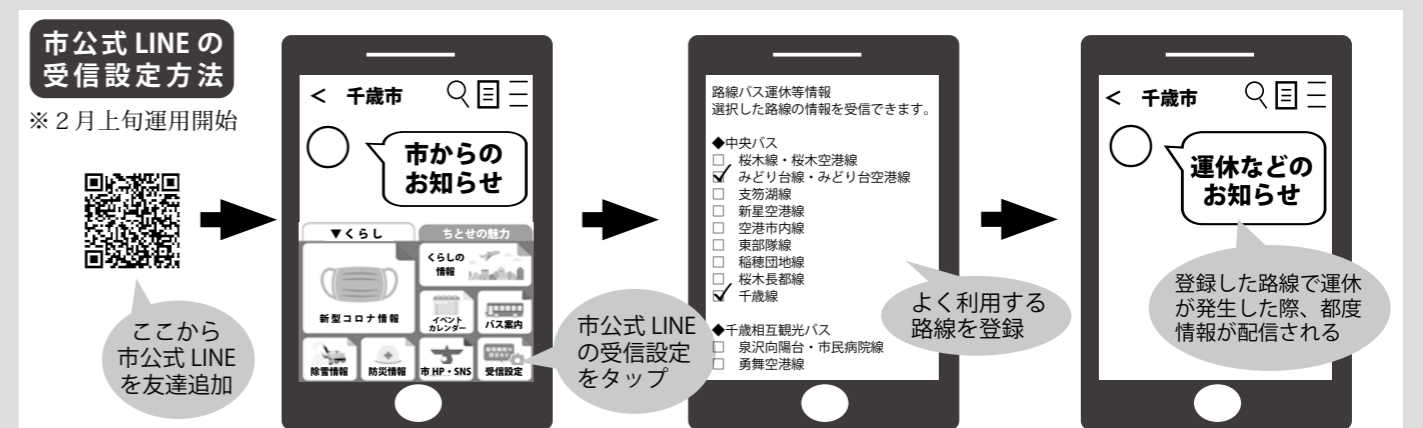
※実際の運行ルートは、道路状況などにより変更することがあります。

## 1 情報発信の即時性の強化

運行状況に関する問合せがバス事業者に殺到し混乱を招いたことから、運行情報をタイムリーにお知らせするため、バスの運休情報などを市公式LINEで配信します。



- ・市がバス事業者に情報を確認して配信するため、リアルタイムの情報配信が困難
  - ・ホームページやバス停への掲示だけでは、利用者が自ら情報を確認するまで運休に気が付けない。
- 【取り組みの効果】  
利用者がよく利用するバス路線を登録することで、必要な情報をタイムリーに知ることができます。



※運休情報などは、バス停に掲示するほか、バス事業者のホームページや市ホームページで確認することができます。